2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月29日

上場会社名　　カナレ電気株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　5819　　ＵＲＬ　https://www.canare.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）野田　爾
問合せ先責任者　（役職名）取締役執行役員財務経理部長　（氏名）牧野　久直　　ＴＥＬ　045-620-7474

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	9,796	△0.0	1,311	△3.1	1,375	△3.1	969	△1.1
2025年12月期第３四半期	9,800	9.4	1,353	30.8	1,419	32.2	980	20.1

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　1,155百万円（19.3%）　2025年12月期第３四半期　969百万円（8.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	141.46	ー
2025年12月期第３四半期	143.53	ー

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期第３四半期	21,508	19,753	91.8	2,879.32
2025年12月期	21,075	19,048	90.4	2,784.46

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　19,753百万円　2025年12月期　19,048百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	28.00	ー	38.00	66.00
2026年12月期	ー	33.00	ー		
2026年12月期（予想）				33.00	66.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,200	0.6	1,480	△6.4	1,630	△2.8	1,180	△1.7	172.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　ー社　（社名）、除外　ー社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
　② ①以外の会計方針の変更　：無
　③ 会計上の見積りの変更　：無
　④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	7,028,060株	2025年12月期	7,028,060株
② 期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	167,523株	2025年12月期	186,963株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	6,852,206株	2025年12月期３Ｑ	6,830,729株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
上記の業績予想は、慎重に策定しましたが、当社グループで現在入手可能な情報から得られたものを前提に策定しており、リスクや不確定要素が含まれております。実際はさまざまな要因の変化から、実際とは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する説明 …… 2
（２）連結財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
３．補足情報 …… 10
海外売上高 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、国内においては、人件費の上昇、資源・エネルギー価格の高騰、為替変動などの影響によりインフレーション傾向が継続し、依然として不透明感が残る厳しい状況が続きました。海外においては、緩やかな景気拡大が続いているものの、米国関税政策や中東情勢の悪化などの地政学リスクの高まりから不安定な状況となりました。

こうした経営環境に対応するため、当社グループは、国内市場において既存事業の強化、車載・マシンビジョンなどの新市場開拓、お客様ごとにカスタマイズされたソリューションビジネスの展開を図るとともに、海外市場での積極的拡販活動に取り組んでまいりました。

このような環境の下、海外売上は米国・韓国・シンガポールなどの地域で増収となり、円安による為替換算影響もあり、前年同期を上回りました。国内売上は電設市場向けは堅調に推移したものの、放送市場向けが減少し、前年同期を下回り、連結売上高全体でも前年同期を下回りました。また、売上減や材料価格高騰影響による売上総利益率の低下および持続的な成長に向けた積極的な販売促進活動や製品開発・人的資本投資などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

以上により、連結売上高は9,796百万円(前年同期比0.0%、前年同期並み)となり、利益面では営業利益1,311百万円(前年同期比3.1%減)、経常利益1,375百万円(前年同期比3.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益969百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

主なセグメントの業績は、次のとおりであります。

（日本）

日本市場は、電設市場において、第２四半期に引き続き、愛知県で開催のアジア地域スポーツ大会関連施設向けの工事材料や放送中継機材の納入が進んだほか、大型テーマパークやスタジアム・アリーナなどのイベント・エンターテインメント施設向け案件も堅調に推移し、売上に寄与しました。放送市場では、計画された設備更新は着実に進捗し、制作プロダクション向け放送設備関連案件への納入があったものの、前年同期に計上したNHK案件の減少分を補うには至らず、売上高は前年同期を下回りました。これらの結果、売上高は4,636百万円（前年同期比5.9%減）、セグメント利益も減収により881百万円(前年同期比18.2%減)で減収減益となりました。

（米国）

米国市場は、関税政策の影響や公共部門の需要低迷により設備投資に慎重な動きが続くなか、放送市場における中継車や映像制作設備向けの納入に加え、システムインテグレータやディーラ向けの販売も堅調に推移しました。また、為替影響もあり、売上高は1,537百万円(前年同期比19.3%増)となりました。セグメント利益は、増収に加え関税の還付に伴う輸入コストの減少や売上総利益率の改善などにより238百万円(前年同期比764.5%増)となり、増収増益となりました。

（韓国）

韓国市場は、第３四半期において、放送市場における設備投資の翌年への延期などの厳しい市場環境がみられたものの、上期に放送・電設・流通の各市場で受注を獲得したことに加え、中継車やスタジオ改修案件の納入、流通市場における価格改定前の先行需要、為替影響もあり、売上高は880百万円（前年同期比11.8%増)となりました。セグメント利益は98百万円(前年同期比16.2%増)となり、増収増益となりました。

（中国）

中国市場は、上期は放送局設備の更新案件などへの納入が進んだものの、経済の減速によりAV設備市場の需要が大きく落ち込んだほか、現地メーカーとの競争もみられるようになりました。これらの結果、売上高は864百万円(前年同期比15.7%減)、セグメント利益も減収などの影響により41百万円(前年同期比40.7%減)となり、減収減益となりました。

（シンガポール）

東南アジア市場は、一部案件で延期がみられたものの、大型案件となるベトナムの競技場向け納入が始まったほか、シンガポールやタイでは放送局や劇場向けの設備需要が堅調に推移し、為替影響もあり、売上高は465百万円(前年同期比13.8%増)となりました。セグメント利益も、増収などにより44百万円(前年同期比130.1%増)となり、増収増益となりました。

（２）連結財政状態に関する説明

当第３四半期末における財政状態につきましては、納税や配当支払いに伴う現金及び預金が減少したものの受取手形及び売掛金、投資有価証券、長期性預金の増加により、資産合計は前連結会計年度末に比して432百万円増の21,508百万円となりました。負債合計につきましては、未払金や納税による未払法人税等の減少で、前連結会計年度に比して271百万円減の1,754百万円となりました。純資産合計につきましては、配当の支払いがあったものの親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加や為替換算調整勘定の増加により、前連結会計年度末に比して704百万円増の19,753百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第３四半期連結累計期間における業績は米国関税還付による影響などで上振れ傾向となっておりますが、中東情勢や為替変動などの不安定要素もあり、現時点で2026年1月29日の「2025年12月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,266,101	8,629,536
受取手形及び売掛金	1,294,497	1,350,297
商品及び製品	2,881,465	3,371,327
仕掛品	70,475	22,472
原材料及び貯蔵品	217,233	200,351
その他	422,815	491,032
貸倒引当金	△8,409	△10,917
流動資産合計	14,144,179	14,054,101
固定資産		
有形固定資産		
土地	805,882	811,840
その他	4,260,660	4,308,384
減価償却累計額	△2,850,900	△3,009,413
有形固定資産合計	2,215,642	2,110,811
無形固定資産	27,251	22,347
投資その他の資産		
投資有価証券	2,425,898	3,010,749
その他	2,262,181	2,310,122
投資その他の資産合計	4,688,079	5,320,871
固定資産合計	6,930,973	7,454,030
資産合計	21,075,153	21,508,131
負債の部		
流動負債		
買掛金	660,463	724,765
未払法人税等	300,155	131,300
賞与引当金	86,844	209,705
役員賞与引当金	38,666	18,867
その他	614,693	417,227
流動負債合計	1,700,822	1,501,867
固定負債		
役員退職慰労引当金	67,070	20,250
退職給付に係る負債	29,575	29,444
その他	228,863	202,847
固定負債合計	325,509	252,542
負債合計	2,026,331	1,754,409

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,047,542	1,047,542
資本剰余金	1,196,240	1,208,564
利益剰余金	15,577,694	16,060,701
自己株式	△222,680	△199,527
株主資本合計	17,598,796	18,117,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	370,825	428,310
繰延ヘッジ損益	－	615
土地再評価差額金	△371,051	△371,051
為替換算調整勘定	1,450,250	1,578,566
その他の包括利益累計額合計	1,450,024	1,636,440
純資産合計	19,048,821	19,753,722
負債純資産合計	21,075,153	21,508,131

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	9,800,537	9,796,498
売上原価	5,553,234	5,592,817
売上総利益	4,247,303	4,203,681
販売費及び一般管理費	2,894,224	2,892,353
営業利益	1,353,079	1,311,328
営業外収益		
受取利息	50,061	70,513
受取配当金	7,300	10,158
不動産賃貸料	4,929	5,076
投資事業組合運用益	15,523	2,294
その他	5,267	5,092
営業外収益合計	83,082	93,135
営業外費用		
支払利息	1,817	10,269
不動産賃貸原価	4,142	4,433
投資事業組合運用損	－	3,088
為替差損	7,271	6,554
その他	3,314	4,655
営業外費用合計	16,545	29,001
経常利益	1,419,616	1,375,462
特別損失		
減損損失	37,119	－
特別損失合計	37,119	－
税金等調整前四半期純利益	1,382,497	1,375,462
法人税、住民税及び事業税	478,008	406,913
法人税等調整額	△75,951	△817
法人税等合計	402,057	406,096
四半期純利益	980,439	969,366
親会社株主に帰属する四半期純利益	980,439	969,366

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	980,439	969,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124,608	57,485
繰延ヘッジ損益	671	615
為替換算調整勘定	△136,581	128,315
その他の包括利益合計	△11,301	186,415
四半期包括利益	969,138	1,155,782
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	969,138	1,155,782
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	日本	米国	韓国	中国	台湾
売上高					
外部顧客への売上高	4,928,907	1,288,889	787,958	1,025,490	82,507
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,892,947	－	－	482,635	－
計	7,821,855	1,288,889	787,958	1,508,125	82,507
セグメント利益又は損失（△）	1,076,979	27,611	84,536	69,412	3,347

	報告セグメント		その他（注）	合計
	シンガポール	計		
売上高				
外部顧客への売上高	408,923	8,522,678	1,277,859	9,800,537
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	3,375,582	11,482	3,387,065
計	408,923	11,898,261	1,289,341	13,187,602
セグメント利益又は損失（△）	19,135	1,281,021	157,301	1,438,323

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、欧州及び中東の事業を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,281,021
「その他」の区分の利益	157,301
セグメント間取引消去	6,221
棚卸資産の調整額	△91,466
四半期連結損益計算書の営業利益	1,353,079

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	日本	米国	韓国	中国	台湾
売上高					
外部顧客への売上高	4,636,880	1,537,805	880,786	864,798	120,886
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,212,928	－	－	564,698	－
計	7,849,808	1,537,805	880,786	1,429,496	120,886
セグメント利益又は損失（△）	881,311	238,692	98,210	41,164	19,086

	報告セグメント		その他（注）	合計
	シンガポール	計		
売上高				
外部顧客への売上高	465,284	8,506,442	1,290,056	9,796,498
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	3,777,626	9,729	3,787,355
計	465,284	12,284,068	1,299,785	13,583,854
セグメント利益又は損失（△）	44,037	1,322,502	100,592	1,423,095

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、欧州及び中東の事業を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,322,502
「その他」の区分の利益	100,592
セグメント間取引消去	15,734
棚卸資産の調整額	△127,501
四半期連結損益計算書の営業利益	1,311,328

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	160,247千円	177,734千円

３．補足情報

海外売上高

前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

	米州	アジア	その他の地域	計
海外売上高（千円）	1,288,889	2,633,877	1,139,505	5,062,272
連結売上高（千円）	―	―	―	9,800,537
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	13.2	26.9	11.6	51.7

当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

	米州	アジア	その他の地域	計
海外売上高（千円）	1,537,805	2,605,887	1,174,351	5,318,045
連結売上高（千円）	―	―	―	9,796,498
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	15.7	26.6	12.0	54.3

（注）海外売上高は、顧客の所在地を基礎とし、地域によって分類しております。